

船舶事故等調査報告書

平成21年4月23日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009横第16号	
事故等名	貨物船第二十八共進丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年12月1日07時45分ごろ	
発生場所	名古屋港第4区P-4 名古屋スチールセンター岸壁付近	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年1月13日横浜・地方事故調査官が海難報告書入手し、1月19日船舶所有者からプロペラ損傷見取図写、海難工事見積書写等入手 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	貨物船 第二十八共進丸 421トン	
船舶番号	140348	
船舶所有者等	共進海運有限会社	
船種・船名・総トン数		
船舶番号(IMO 番号)		
船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 五級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	船底擦過傷、推進器翼曲欠損	
事故等の経過	本船は、鋼材1,080.784トンを積載し、船首3.0m、船尾4.3mの喫水で名古屋港第4区 P-4名古屋スチールセンター岸壁接岸時に、平成20年12月1日07時45分ごろ、船底に衝撃を感じた。 後日、鳴門市の造船所に入渠して、船底調査の結果、船底平坦部に軽微な擦過傷及び推進器翼に曲欠損を発見した。 当時の天候は、晴で北東の風、風力2であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、船位の確認を十分に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が接岸作業中、船位の確認を十分に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	